

受講番号 18035 学校名 春野高等学校 氏名 助村 美保

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 3年C組 生徒数 33 名
 科目名 英語 I 単位数(授業時数) 2 時間 使用教科書名 Lingua-Land English Course I (教育出版)

クラスの様子・特徴

農業科3年生で、男子26名・女子7名のクラスであり、1年次よりクラス替えがなく、人間関係は安定している。どちらかといえば男子に活気があり、かつ音読や発言にも積極的な生徒が多い。4年制大学進学希望者は7、8名。1学期末英語 I の評価1は3名。

問題の確定

一見真面目に授業を受けて、音読で声が出ている生徒たちも、理解・納得したうえでの積極的な「学び」の姿勢にはいたっていない。

予備調査

A 授業の観察

大半の生徒は明るく従順、授業にも活気があるクラスだが、時には調子に乗りすぎてうるさいこともある。英語の力がある生徒も、英検3級の受検をいやがるなど、自信には結びついていない。生徒たちの取り組み姿勢はまじめで、授業は淡々と進む。

B 生徒による授業評価

英語の授業は楽しい
 5(2人) 4(4人) 3(18人) 2(2人) 1(1人)
 英語の授業は役にたつ
 5(5人) 4(8人) 3(11人) 2(8人) 1(1人)

C 学力データ

中間テスト平均点:59.1 期末テスト平均点:54.1
 1学期末評価素点の平均:62.4
 1学期末評価(33人中)
 5:7人 4:5人 3:15人 2:4人 1:2人

リサーチ・クエスト

生徒が音読に意欲的に取り組み、英文を自分の言葉として暗誦できるようになるには何をすべきか。

仮説・実践・検証

仮説1

単語レベルでのつまづきがなくなれば、英文音読への抵抗感は減少するだろう。

実践1

○各Lessonの新出単語をすべてつまずかず読めるようにする。(約30 words)
 ○授業の最初には必ず単語の早読み練習の時間をとる。(ペアをつくり、相互に時間計測と発音チェックを行う。)
 ○ストップウォッチでひとりひとりの時間を計測しながら音読テストを実施する旨を生徒に予告し、緊張感をもって音読練習ができるよう工夫する。30秒を超える場合は合格としない。

検証1

●漫然と音読していた生徒たちに真剣さが感じられるようになった。ペアの一方が誤読をチェックしたり、時間を計測するので、正確でスピード感のある練習ができるようになってきた。
 ●テスト結果(33人中) 欠:3名 リタイア:3名 タイムオーバー:4名 合格:23名
 ●合格者の平均タイム 17.9秒/28 words
 (第1回目の練習平均タイム 32.2秒/28 words)

仮説2

学習するLesson全体から、音読に最適なセンテンスを選びさえすれば、生徒たちの主体性が引き出せるだろう。

実践2

○まずは、英語への苦手意識が強い生徒に配慮し教科書本文の指定した範囲を繰り返し音読させる。(約80 words)
 ○自信がついた生徒はLesson全体を音読させる。(約200 words)
 ○音読テストでは自分が音読する部分を生徒自身に選ばせる。選び方により得点は20点と30点の差が出るようにした。時間制限は60秒以内とし、それを超えた場合は合格としない。

検証2

●30点へのチャレンジ:15人 20点へのチャレンジ:18人 タイムオーバーで不合格:2人 発音の誤り1箇所につき1点で計算し、合格者平均得点:24.5
 ●[アンケート結果]・・・5-4-3-2-1で回答させる。()内が5と4の肯定派の割合
 音読テストのための練習が期末テストに役立った(69.7%) 時間制限があると、合格時に充実感がある(66.7%)

仮説3

優れた英文を暗誦すれば心の糧となり、将来も学びの意欲を継続できるのではないか。

実践3

○生徒たちがどんな英文を音読してみたいか、アンケートを実施する。
 ○生徒たちに自分がよく聞く歌のなかで、好きな歌詞カードを持参してもらう。
 ○ことわざ・格言・名言・名台詞をできるだけ多く集める。
 ○生徒たちに好きな英文を選ばせ、できるだけ多く暗誦させる。

検証3

●3学期に暗誦テストを実施予定のため、検証結果は出ていない。
 ●[音読テストで読んでみたい英文に関するアンケート]
 歌の歌詞:13人
 有名な人の名言・名せりふ:12人
 ことわざ・格言:5人

研究の成果

生徒たちが音読テストに抵抗感を抱くと思いきや、タイムを計測したり、ペアでお互いにチェックをしあい簡単なコメントをつけてもらうなどすると、予想以上に楽しんで活動ができていた。信頼関係ができていいる明るいクラスの雰囲気に向うところが大きい。生徒たちがどう感じ、次の授業では何を求められているか、教員が常に生徒たちの一歩先を状況を読み取って授業改善していくことの重要性をあらためて痛感した。
 [アンケート結果]・・・5-4-3-2-1で回答させる。()内が5と4の肯定派の割合。
 成績に音読テストの得点が組み込まれて上がった(87.9%)

今後の授業改善の課題

3年生4クラスが授業進度を揃えて定期テストを共通で行うため、リサーチに対する時間が思うようにとれず、仮説3に対する実践3がまだ不十分であり、よって検証ができていない。冬休みを利用した課題を出すなどして3学期につなげていきたい。また、音読に力を入れることで、授業に活気をもたらすことはできたが、英語の実力養成にどう結びつけていくか、さらに工夫と考察が必要だ。

リサーチについての問合せ先:

職場電話 088-894-2308 電子メール

miho_sukemura@kt2.kochinet.ed.jp